



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16番地 1

TEL 0178-27-7223 (総務課総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第148号 平成27年7月



目次

校長先生から	1	校内体育大会	16
八戸高専の4学期制について	2	国際交流関係	17
創立50周年記念ホールについて	4	北辰寮から	18
3主事から	5	就職・進学状況	19
新入生紹介	6	相談室から	20
1学年主任から	10	図書館から	21
専攻科新入生紹介	10	男女共同参画委員会から	21
今年の留学生・編入生紹介	11	学生表彰	22
授業参観日について	12	「保護者の声」設置について	23
新任教職員紹介	13	授業料等の納付について	23
青森県高校総合体育大会結果一覧	14	後期授業料免除のお知らせ	23
東北地区高専体育大会結果一覧	15	公開講座	23



八戸高専の現況について



— 学科再編、4学期制の導入、就職・進学、
到達度試験結果、国際交流、知の拠点など —

八戸工業高等専門学校

校長 岡田 益 男



平成27年度の新入生を対象として学科と専攻科が再編されました。一昨年度に本校が創立50周年を迎えたことを機に、現在の地域のニーズに即した学科編成とすべく、青森県や八戸市等の将来計画や地域企業等からの要望を基に、1学科4コース制の編成としました。特に、この青森県の三八地域には優秀な金属系企業が多数あることから、金属系のカリキュラムや研究の充実、また、本校の建築系のカリキュラムの充実を推進します。学科名を産業システム工学科として、機械システムデザインコース、電気情報工学コース、マテリアル・バイオ工学コース、環境都市・建築デザインコースの4コースとしました。専攻科も1専攻4コースとなります。本年度は、新学科の体制の下に、本科159名、専攻科40名、合計199名の新入生を迎えることができました。平成27年度入学試験の倍率は学科再編もあり、昨年度の1.8倍から2.2倍となりました。

また、平成27年度から4学期制を導入しました。新しい4学期制の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤が培われ、主体的に学ぶ習慣や専門知識を習得できるとともに社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような教育カリキュラムの導入にあります。この4学期制については次頁で詳しく紹介いたします。

現在、5年次、専攻科2年次は進学、就職活動の真最中です。3年前からキャリア教育の一貫として、4年生を対象として企業内容説明会を開始致しました。平成24年度には64社でしたが、平成27年3月には119社に参加して頂きました。参加企業が多かったこともあり、1年生～3年生の希望する学生さんにも参加して頂きました。学生さんにも、参加した企業にも大好評でした。

度々ご報告申し上げますように、昨年度の就職・進学ですが、進学率は昨年度と同様の43%で、専攻科からの進学率も45%に大幅に増加しました。専攻科への進学率が増加しましたのは、一昨年度から専攻科入試制度を改定したことが考えられます。本年度も既に専攻科推薦入学者19名が内定しております。

昨年度、3年生（現4年生）を対象とした数学と物理についての全国高専の学習到達度試験結果が、初めて公表されました。数学では全国高専51校中4位、物理が6位という成績であり、全国の高専でも本校はトップランクにあることが証明されました。あらためて、現4年生に敬意を表したいと存じます。

また、創立50周年記念ホールは170名の収容ができる多機能なホールとして5月末日でほぼ完成し、7月18日に竣工記念式典を行いました。一部は専攻科学生の講義室となります。創立50周年記念事業に対して、ご協力頂いた保護者の皆様の温かいご支援とご協力に対して、あらためて深甚の感謝を申し上げたいと存じます。

次に国際交流についてのご報告です。本校では英語力増進のために、海外インターンシップ等多くのプログラムを準備しております。本年度は9月に1～3年次20名、3年～5年次の20名の学生を対象とした海外研修を実施予定です。専攻科学生を対象としてフランスのインターンシッププログラムもごぞいます。奨学金制度もあり、学生が海外研修を希望する場合には、是非、応援して頂きたいと存じます。

また、平成26年度に本校は文部科学省の「地（知）の拠点」プログラムに採択されました。本事業では、青森のリソース（海・山の幸、太陽光・風力などの自然エネルギー、人財など）のコンピテンシー（能力や適格性）を育成することを目的に、青森県、八戸市ならびに関連団体と連携協力のもとに本事業を実施します。特に、研究プログラムとして、地域ニーズの受け入れ体制の強化、卒業研究・特別研究における地域志向テーマの推進や、地域課題の学内周知と早期解決に向けた支援を推進します。

八戸高専の卒業生は産業界から国際的技術者・研究者として、又将来のリーダーとして期待されています。多くの本校の学生が国際的技術者・研究者として、輝く未来に羽ばたけるように、引き続き皆様のご支援・ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

八戸高専の4学期制について

— 4学期制の導入背景、目的、実施内容、自主探究学習など —

八戸工業高等専門学校

校長 岡田 益 男

本校はこの4月から4学期制を開始いたしました。4学期制は学校の1年間の課程を4つの学期にわけて実施するものです。

4学期制には、一般に次の3つの利点があるといわれています。(1)週複数回授業による学習の集中強度化：単位取得にかかる期間を半分にする代わりに、授業を週2回にすることで、少数の科目を集中して学べ、授業の間が空かないので、覚えたことが頭に定着しやすい利点があります。特に、工学系の科目においては、基礎から段階的に学ぶ積み上げ型の学習が基本であり、4学期制では、基礎系の科目をきちんと学んでから応用系の科目に進めるという特長もあります。(2)短期完結型の科目導入による履修の自由度向上：現行の2学期制に比べ、授業期間の単位が細かく区分されるために、学生の履修の自由度も高まります。(3)短期留学やインターンシップなどの機会の充実：長期の夏季、冬季の休業期間を設けることで、短期留学やインターンシップなどの社会体験がしやすくなります。

このような利点から、早稲田大学や慶応大学が既に4学期制を導入しており、東大は、この4月から4学期制を開始しました。東大では、4月～12月までを授業期間として、1月～3月は授業が開講されません。その他、多くの大学がこの4学期制の導入を検討しております。

それでは、何故、多くの大学が4学期制の導入又は、導入の検討をしているのでしょうか。この4学期制導入の背景には、学生や保護者対象の説明会や入学式などでもご紹介申し上げたように、我が国がこれから実施する大きな教育改革があります。文科省は大学入試センター試験を平成31年に廃止し、これまで「知識」、「技能」に偏りがちだったこれまでの入試を、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協調性」を踏まえて総合的に判断するものに変えようとしています。それでは、どうしてこのような改革をしなければならないのでしょうか。その背景には、我が国のものづくり産業などが大きな岐路に立たされているからです。これまで、テレビや冷蔵庫、エアコン、自家

用車等は、「もっとたくさん」「もっと安く」「もっと高品質に」を目指せば、それなりに売れる時代が続きました。ある意味では、作って売るための正解があったからです。現在は、どの産業も何を、どのようにつくっていったらよいのか正解がなく、苦勞しています。従って、これからの我が国の産業を支える人材は、正解のない課題に答えを出せる人材が重要になるからです。

高専は大学と同じ高等教育機関とされており、我が国の教育改革に積極的に参画する必要があります。毎年入学式の式辞でご紹介しておりますが、普通高校では生徒と呼びますが、本校では学生と呼びます。「生徒」というのは、「既知の事実を学ぶ人」、「学生」というのは、「未知の予測を実証する人」です。つまり、「教えてもらうのが生徒、自ら研究するのが学生」ということとなります。本校では、大学並の自らが学ぶ姿勢の教育カリキュラムを入学直後の1年次から充実させる必要があります。

もちろん、これまでも本校では、本校の教育目的である「創造力と開発能力を兼ね備えた実践的・創造的技術者を養成する」を達成するために、カリキュラムを工夫し、また、ロボコンやデザコン等の課外活動にも力を入れ、少人数教育を実施してまいりました。しかし、現行の教育カリキュラムにおいては、どうしても教えることを主体にした正解のある授業が主であり、自ら課題を見つけ、調査や実験をし、自ら答えを導き出す教育の取り組みが不十分であるという問題点があります。それを解決する教育カリキュラムとして、アクティブラーニングや自主探究学習の導入が推奨されています。多くの高等学校や大学が、今後この教育システムを取り入れなければならないのが実情です。そこで、本校では、上記の4学期制の3つの利点に加え、その一つである長期間を利用し、アクティブラーニングや自主探究学習を重点的に推進すべく、新たな4学期制を51高専のトップをきって開始することとしました。

本校の4学期制では、4月～6月上旬を春学期、6月上旬～8月上旬を夏学期、11月中旬～2月上

旬までを冬学期として授業を実施し、8月の夏季休業を含めて9月～11月上旬までの秋学期に、アクティブラーニング、自主探究学習、国内外のインターンシップ等を実施するものです。

1年生～3年生を対象とした自主探究学習は、1年間を通じ、特に秋学期を主な学期として、学生自らが課題を設定し、調査や実験し、答えを導き出すという教育プログラムです。同じ課題を設定しても、調査や実験の仕方でも別な答えが導き出されるかもしれません。それでも自らが課題を見つけ、自らが答えを出すことが重要ですので結構だと存じます。これまでの小中高の学習のほとんどが、正解があるカリキュラムだったと思いますので、新たに自主探究学習等に取り組む場合に、学生には大変な戸惑いが生じるかもしれません。しかし、自分が興味のある問題を取り上げて、自分で調べて、自分で答えを出すのですから、ある意味では、楽しい、ワクワクした、充実した時間になるはずで、1～3年次の学生には、既に、自主探究学習のガイダンスをし、課題の見つけ方等について紹介しました。

1～3年次全学生の自主探究学習の発表会をそれぞれ、11月4日(1年生)、5日(2年生)、6日(3年生)に開催予定です。どなたでも発表会にはご参加いただけますので、保護者の皆様には是非ご参加頂きたく存じます。優秀な学習結果は表彰予定です。また、秋学期には通常の授業はなく、学生個々の自主探究活動について、学生自らが計画を立て行動することとなっております。その計画については、保護者の皆様にはご通知申し上げます。また、各クラスには2名の自主探究学習のためのコーディネーター教員が配置されております。学生が自主探究学習の課題が見つからない、課題を調べられない、課題の成果が発表できないなどの問題がございましたら、ご遠慮なく担当コーディネーター教員までお申し出下さい。

4年次、5年次の学生には、自主探究学習の一環として、夏季休業を含めて秋学期には、国内外のインターンシップや卒業研究に積極的に取り組んで頂きたいと存じます。特にこれまでの研究室配属は、早くても4年次の後期でしたが、コースによって異なりますが、できれば夏学期を想定しております。4年生の卒研、あるいはこれに関連する学習やインターンシップにおいて、どんな課題を実施したいのか是非、自分で課題を設定し、その課題実施の有無について、指導教員と話し合っ、卒研の研究題目を決定して頂きたいと存じます。

また、新たな4学期制において、1年次～4年次を対象として、2月上旬～3月中旬の7週間を発展学習期間としております。発展学習期間において、学生は11月に発表した自主探究学習の反省をもとに次年度の探究活動に役立つ、あるいは興味のある科目を選択科目の中から選択し、受講できます。各学年とも3科目まで同時に受講できますが、最低1科目は受講することとしております。ただし、この受講科目の単位認定については、4月以降に認定され、学年末の進級の要件には入りません。また、学生は、この期間に各種講演会や外部試験などが実施されますので、積極的に参加して頂きたいと思っております。

これまでの2学期制では、4月から9月までは試験はありませんでしたが、この4学期制では、5月末日と7月末日に試験があります。これまでのんびりした2学期制に慣れている学生は、4月～7月までが、忙しすぎると不平・不満をもつかもしれません。しかし、学生が集中して講義を聞いて講義内容を身に着けるのも、この4学期制の優れた特徴であり、また試験を全て終了して夏休みを迎えるのも、開放感があり、さらに、集中して課外活動、インターンシップ、卒業研究などが実施できることも利点です。保護者の皆様には是非ご理解賜りたく存じます。

最後に、4学期制における各学期の寮について現在の予定を紹介します。春、夏、冬学期は通常通りの予定で寮を使用できます。8月の夏休みについては、本年度より合宿所は閉鎖し、寮を使用できるようにします。また、秋学期の9月、10月の自主探究学習期間は、希望者のみ寮を使用できるものとします。自宅通学できる学生はできるだけ自宅から通学するようお願いいたします。また、2月上旬～3月中旬までの発展学習期間についても、希望者には寮の使用を許可する予定です。この寮に関しての問題などございましたら、寮務主事までご相談をお願いいたします。

保護者の皆様には、上記のように本校が新たに推進する4学期制、自主探究学習などについてご理解賜り、ご家庭においてもお子様の教育やご指導に、ご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。

創立 50 周年記念ホール完成！

創立50周年記念ホール部会

委員長 松橋 信明

本校創立50周年記念事業最大の事業であります創立50周年記念ホールがついに完成し、7月18日に関係各位をご招待し、約150名の参加をいただき、創立50周年記念ホール竣工記念式典が盛大に開催されました。

創立50周年記念ホールは、新しいグローバル時代に対応できる人材育成を目指し、複数クラス混合授業、特別講義、講演会などに利用できる多目的ホールです。このホールは、168席（4クラス収容）の大ホールと42席のセミナールームを備え、電子黒板機能付きモニターなど最新の教育機器と高性能なAV環境、エアコン完備、多目的トイレ完備の高機能をすばらしいホールです。授業の他に講演会や懇親会など多種イベント開催可能で、地域のみなさまも利用できます。卒業生、保護者、現・旧教職員、企業・団体等のみなさまのご寄附及び高専機構の営繕事業予算配分により、完成させることができました。

竣工記念式典では、岡田校長の挨拶の後、来賓の八戸市長の小林眞様と本校産業技術振興会会長で八戸商工会議所会頭の福島哲男様からご祝辞をいただき、続いて本校の馬渡准教授が「創立50周年記念ホールの設計について」というタイトルでホール設計の際の特長や工夫について記念講演いたしました。その後、竣工記念祝賀会ということで、本来、本校敷地内では飲酒禁止ではありません

が、創立50周年記念ホールだけは特区として認められており、完成を祝って祝杯をあげました。

この創立50周年記念ホールが、50年の礎から輝く未来へ飛翔するための拠点として、末永くみなさまに親しまれ、多目的に有効活用されますことを祈念しております。



岡田校長



八戸市長 小林 眞様



八戸商工会議所会頭
福島 哲男様



馬渡准教授による「創立 50 周年記念ホールの設計について」記念講演



創立 50 周年記念ホール 外観



記念ホール



セミナールーム

3 主事から

平成27年度

八戸高専が変わりました

教務主事

赤垣 友治



平成27年度入学生から、これまでの4学科が1学科4コース制に変わりました。また2学期制(前・後期)から4学期制(春・夏・秋・冬学期)に変わり、学修単位が大幅に導入されました。

(1)学修単位：単位には履修単位(1単位=30時間の授業、これまでの単位)と学修単位(1単位=15時間の授業+30時間の自学自習=45時間の学習)があります。自学自習時間とは、レポート・宿題・予習・復習に要した時間や小テスト・到達度試験対策等のための勉強時間のことです。1単位の場合、30時間の自学自習は必須です。

(2)試験は勝負：4学期制では科目を短期間で集中して学びます。2ヶ月で終了する科目があります。週2回実施の科目は、進度が早く試験範囲も広くなります。授業や自学自習等でわからないところは、すぐに教員や友達に質問し解決してください。成績が60点未満の場合は、試験勉強及び日常的な勉強が不十分です。十分な勉強時間を確保し、理解できるまで勉強して下さい。到達度試験結果が進級を左右しますので、勝負だと思い、しっかり勉強し臨んでください。

(3)特別学修単位：英検等の検定試験や危険物取扱者等の資格(学生便覧p157)は、15単位まで単位として認められます。チャレンジして下さい。

(4)おわりに：君の夢は何ですか？4学期制になり8～10月は通常の授業がありません。自主探究学習を通して、また興味のある分野を深く学習して、将来の夢を実現するために自分を鍛えて下さい。将来皆さんが直面する問題は、正解のない問題、答が一つだけではない問題ばかりなのです。

ルールを遵守し、
人間性を高めよう

学生主事

中村 重人



昨年度から1～3年生の携帯電話・スマートフォン等の使用について、8:30から16:00まで携帯電話等の電源を切り、ロッカーの中にしまっておくこととしました。残念ながら多数の学生がこれに違反して指導を受けております。また、SNSにおいて他人を中傷する書き込みをするなど

で例年に無く、多くの学生が指導されました。無駄に長時間にわたり使用していないか、SNS等で安易に書き込みをしていないか、スマートフォン等の使い方を再度見直してください。また、保護者の皆様にも学生のスマートフォン等の使い方に関心を持っていただき、過度な使用には御指導をお願いいたします。

学生への特別指導の中で特に重い懲戒処分についてですが、昨年度も集団飲酒、窃盗等があり、厳正に厳しく処分を下しました。

今年度の年間実践目標は、(1)目標を立てよう、実現しよう、(2)積極的に自学自習をしよう、資格試験に挑戦しよう、(3)ルールを遵守し、人間性を高めよう、です。今年度から4学期制となり、よりいっそう各個人の自主性が求められてきます。本校学生としての自覚を持ち、軽はずみな行動を取ることを無いうようにして、学生生活を有意義に楽しんでいただきたいと思います。

4学期制と教育寮

寮務主事

河村 信治



高専の教育寮として51年間の伝統を持つ北辰寮ですが、今年度4学期制の導入等にもなあって、改めて教育寮の意味を問いつつ、運営方法を見直しています。

夏休み(合宿利用期間)と秋学期は希望入寮制となり、明確な利用目的(計画)がある人(グループ)の申請を受け付け、入寮を許可します。秋学期は定常時に近い日課を想定していますので、気を引き締めて自律的に生活してください。

春・夏・冬学期の定常時の寮生活の上でも、寮生の共同生活についての意識を高めるべく、自己管理と、高学年生(指導寮生およびE棟寮生)の役割の比重を大きく修正しています。朝点呼は二度寝防止のため、着替えてから大食堂で申告する方式に代え、指導寮生が当番でその受け付けに当たっています。低学年フロアの清掃点検や学習時間中の巡回等の日常業務も高学年生が実施します。

例年より開催時期が早まり、5月16日に開催された寮祭は、準備期間が短かったにもかかわらず、寮生たちは寮祭実行委員会を中心に見事なチームワークと業務遂行能力を発揮し、成功裏に終わりました。自主探究学習と同様、寮生自らの共同生活意識を引出し、その潜在力を、生活管理の上でも十二分に発揮してもらいたいと願っています。



新入生紹介

Have a nice day !

L1担任 蝦名謙一

春学期、夏学期と保健体育の授業がなく、毎日のSHRでの顔合わせで、なかなか一人ひとりを覚えられず、個人面談などをして、ようやく覚えてきている今日この頃であります。

入学して3ヶ月が過ぎました。入学当初から見れば、寮生活や学校生活に、大分慣れてきたようでもあります。ひとりひとり、クラスの友達もだいぶできました。「親しき中にも礼儀有り」と申します。友達を思い、育まれていく中で、それぞれに自分を律しながら自立を目指し、よく考えて、判断して、行動した成長を願います。

「学校に来る」「授業で寝ない」「教員室を訪ねる」の学級目標のもと、今のところ様々な活動をよくこなしております。毎日の自分の生活の中で、無理のないリズムをとり、しっかり睡眠時間をとって、授業で覚えるような生活を心がけて、自分の夢に一步步近づいてほしいと願います。

Have a nice day !

いい一日でありますように！



自主探求学習、担任もコツコツ頑張っております。どうすれば精度が上がるか？ ナイスショットです！

L1の将来について

マテリアル・バイオ工学コース1年
秋元日菜子
(青森市立浪岡中学校出身)

八戸高専に入学して、二か月が過ぎました。初めは、緊張からか、とても静かなクラスでした。しかし、日を重ねるごとに友達ができ、今ではとてもにぎやかで笑顔が絶えないクラスです。

L1のいいところは、臨機応変なところです。

授業と授業の間の休み時間や昼休みは、基本にぎやかです。皆、楽しそうに笑いながら毎日を過ごしています。性別やコースに関係なく、仲がいいです。しかし、小テストがある授業の前の休み時間は、誰一人として友達のところへ行って遊ぶ人はいません。この瞬間、黙々と勉強する真面目なクラスに変化します。わからないところがあれば、わかる友達に聞けば教えてくれるので、とても助かります。L1は「臨機応変なクラス」、つまり「やるときはやるクラス」です。

私がL1の将来に不安を持ったことはありません。「やるときはやるクラス」を作り出せるということは、ひとりひとりが「やるときはやる」ということができるからです。それができるのも、ひとりひとりが自立できている証拠だと思えます。L1の全員が、それぞれの「自分」を持っています。個性的なのはそのためです。自立している人なら、どこにいても、どんな状況に陥っても、「自分」を見失わずにいられると思えます。

これからL1として過ごしていく中で、喜怒哀楽を感じる時がたくさん出てくると思います。そんなときでも、しっかり「自分」を見失うことなく、自分の個性を全面に出していきましょう。もし辛くなったり、「自分」を見失いそうになったら、友達を頼ってください。ひとりひとり楽しい高専生活を送っていきましょう。

L1での生活について

電気情報工学コース1年
工藤美幸
(三沢市立堀口中学校出身)

高専に入学してから2か月が過ぎました。

仲の良い友達ができるのか、学校になじむことはできるのか、4学期制を取り入れた初年度の不安など、様々な不安がありましたが、今では毎日、楽しく過ごせています。

L1は、とてもものびのびとしていて自由なクラスです。一人一人の個性がとても強く、驚かされることもあります。みんなで仲良く過ごせています。先生にドッキリをしかけたり、チャットが雑談で盛り上がりやすくなることは、他のクラスではあまり無いのではないのでしょうか。

そんなL1の欠点は、良くも悪くも活発すぎる場所です。切り替えがうまくできないことが多いので、素早くできるようになるといいと思います。

これからL1で過ごす時間は短いですが、楽しい思い出を作り、全員で仲良く過ごせればいいです。



新入生紹介

Better communication, better life

L2担任 菊池 秋夫

早いもので今年度が始まって既に3ヶ月が過ぎ、新入生も高専の生活に慣れてきたようです。

八戸高専では、青森県全体および岩手県からも学生が集まってきています。南部弁に津軽弁が混じり、関東出身の私には最初通訳が欲しいと思うときもありました。言葉の違いは、その言葉を話す文化の違いにも通じます。自分の言葉と違う言葉話す人—自分の文化と異なる文化の人を受けとめ、自分を高めていく姿勢が大事だと思われます。「国際化」とは、外国語を話すことだけではありません。よく知っている人でも、違う一面があるかもしれません。まだ話したことのないクラスメイトもいるでしょう。他人を理解しようとする姿勢を持ち続けること、これがコミュニケーション能力の第一歩だと思います。

L2は、明るく賑やかな一方、いい意味で緊張感を持っているクラスだと思います。「地味な努力」のかっこよさに気付いた学生もいるようです。泥臭くても、粘り強く、自分を高めていってほしいと思います。

教えたもの全て流れても残っているもの、それが教育である

環境都市・建築デザインコース1年

小泉 宏喜

(八戸市立第一中学校出身)

電気情報工学コース1年

宮崎 奎大朗

(八戸市立下長中学校出身)

私達1年生がこの八戸高専に入学してもう2か月が経ちました。今年から、少々理解に苦しむ4学期制というものが導入されていますが、入学当初よりは皆、落ち着いた生活を送っていると思います。

振り返ってみると、この2か月はとても忙しい2か月でした。

入学式。皆、緊張した表情で参加し、無事それが終わると、自己紹介などで、個々のキャラクターが現れました。例えば、学担のことが大好きだった

り、勉強をしなければいけないと思わせる悪循環を生み出す人がいたりして、とても個性豊かなクラスです。

その後のドッジボール大会では、2チームとも1回戦で負けるという戦略ミスがありました。寮祭などもあり、落ち着いてきたかと思ったら、春学期到達度試験があり、これでまた忙しくなりました。

この時、W4（注：学寮W棟4F）の悪循環というものが生まれました。これは、勉強しなくても点数を取れる人が勉強したせいで、周りも勉強しなければという意識が出るというものです。これは、寮内だけでなく、L2にも広まって、ますます循環が大きくなりました。

また授業中の態度では、一方では活発に話し合い、盛り上がり、一方で逆に静まり返っているような非常に温度差が大きいクラスです。そんな中でも、熱を持っている人たちだけが頑張っている一面もあるので、みんなを盛り上げるのがこれからの課題だと思います。

僕たちの連絡員の仕事は、春学期だけでしたが、これからも、他の連絡員と協力して、もっとこのクラスの良いところが引き出されるように努力していきたいです。そして、1年という短い期間ではありますが、とても中身の濃い、楽しい思い出を学担の菊リンとみんなで作っていきたいです。





新入生紹介

L 3 = XANADO!

L 3担任 中村美道

上記タイトルの中の“XANADO”読めます? ザナドゥ(理想郷)です。L 3の一人一人がリラックスして、高専生活をスタートできますように…マジでそう心配させるほど、4月当初のL 3はガチガチに緊張してた(笑)。この右隣のコラムで佐々木さん&長根さんが当時を生々しく(?)綴っていますので、ぜひじっくり読んであげてください。



右コラムに寄稿のL 3 佐々木さん(左)・長根さん

今思えば…当時のL 3、全員ネコかぶってた。一人につき三匹ずつぐらい(笑)。実は強烈な個性の“珍獣”だらけであることがすぐに判明(下図をご覧ください)。打ち解け合い、仲良くなり、互いに尊敬できるライバルを見つけて…L 3は比較的短時間でXANADOにたどり着いたのかも。



L 3でよく見かける“珍獣対決”(?)の例

今年度から学生主体の自主探究が始まりますが、各自の研究テーマも個性的。今後の成果は…We'll have to wait & see! 乞うご期待! いずれにせよ、“産みの苦しみ”の時期を皆が共有することは、大きな意味があるでしょう。

混合クラスは1年後、解散する運命にあります。期間限定のXANADOです。5年後の卒業式、誰一人欠けることなく、一度だけ再結成しよう!

L 3での生活~早くも心境の変化!?

環境都市・建築デザインコース1年

佐々木麗花

(八戸市立下長中学校出身)

実を言うと、入学当初の4月は毎日つまらなかったです。なぜかと言うと、私のクラス、L 3が全体的に緊張していたからです。でも、“妙な空気”は長持ちしなかったです。ゴールデンウィーク前頃から、皆すっかり打ち解けました!今はもう、このクラスに居ること自体がとっても楽しいです。“緊張の仮面”を外すと、いい人ばかりだったので、ホッとしています。担任の美道先生も、とてもいい人です。ただ、ちょっと怖いと思う時があります。授業中、皆が不安になることを笑顔で言うから(笑)。でも、クラスの一人一人のことをいつも考えてくれて、おもしろいから好きです。

L 3で「イイね!」と思うこと、たくさんあります。男女の壁がなく仲がいい、元気、思いやり、優しさ…まだまだいっぱいありますが、スペースの都合上、これくらいにしておきますね(笑)。L 3で過ごすこの1年を大切にしたいと思います。

入学後すぐに気づいた大切なこと

電気情報工学コース1年

長根知己

(南部町立福地中学校出身)

八戸高専に入学したばかりの頃、L 3は全体的に暗く、会話が少なかったです。でも学校生活に慣れてくると、あっという間に、にぎやかになりました!最初は皆不安だったと思います。高専の授業についていけるかどうか。私もそうでした。一人で勉強していると、分からないことが山盛りでした。L 3で友達と話しやすくなった頃から、不安が少し減ってきました。分からないことを教えてもらい、分かるようになってきたからです。高専では、勉強でも人とのコミュニケーションが大切なんだと気づきました。また、提出物は忘れずに必ず提出した方が好いです。

初めての試験が終わり、気が楽ですが、夏学期の試験に向け、再び友達と教え合いながら、学力向上に励みたいです。この1年だけしかいられないL 3のメンバーでたくさんの思い出をつくり、楽しい学校生活を過ごしたいと思います。



新入生紹介

1年生に希望すること

L4担任 吉田雅昭

今、私は、夢や希望を抱き入学してきた皆さんのほとばしる「若いエネルギー」を日々感じながら過ごしております。ところで、皆さんの高専生活は、中学校に比べてどのように変化したのでしょうか？自主性を重視する本校は、教育・研究活動と学寮などの新たな学習と生活環境に加え、今年度から4学期制と自主探究活動が始まり、地域の問題を自ら進んで解決可能な人材を育成する教育課程に大きく変化しました。このため、自己の新たな目標を早期に定め、行動することが今まで以上に必要になりました。この機会に、強い信念と行動力を備えた人を目指し、教職員と学生が共に努力する八戸高専を創造していきましょう。また、本校は、海外留学プログラムも充実し、その気になれば、5年間で自己を飛躍的に成長可能な環境も整備されております。そのような機会には積極的に参加して欲しいと思います。一方で、クラスに目を向けますと、実に県内外の様々な地域から、多様な個性を持つメンバーが集まりました。よい個性を発揮している学生もおれば、残念ながら、言葉遣いや態度などについて、細かい注意が必要な学生もおります。担任をしておりますと、人として重視すべき規律を忘れがちな学生ほど、生活面が乱れ、成績不振に陥る事例を数多く見てまいりました。今年度も、例外なく、その傾向は続いております。この脱却こそが、「進級の鍵」を握っておりますので、成績不振者ほど、自らの生活を見直し、計画的な学習をすべきと思います。最近、コーチング関係の本を読む機会が増えました。学生指導に有効な言葉の使い方を探る日々です。お互いを尊敬しあう言葉、協働で学び合うために前向きになる言葉を共に学習し、よりよいクラスになるためにはどんな言葉が必要で、何が大切か？是非一緒に考えていきましょう。



L4の団結力

マテリアル・バイオコース1年

紺野 冨
(三本木中学校出身)

私たちがL4の一員として生活を始めて、早3ヶ月が経ちました。寮祭や到達度試験、体育大会など様々なイベントがあり、充実したあつという間の3ヶ月でした。1学年ドッジボール大会では、1・2位をL4で独占するという団結力を見せつけ、みんながコミュニケーションをとる良い機会となりました。思えばこのクラスは、最初から明るく仲の良いクラスでした。個性豊かだにぎやかで、たまに騒がしすぎて怒られることもありますが、仲の良い証拠だと思います。しかし、授業での積極性が足りない、楽しむときと落ち着くときの区別ができていないなど、今のままではよくない部分もたくさんあります。1年生としての生活は、まだ4分の1しか終わっていません。これからまた様々なイベントがあり、様々な問題が出てくることでしょう。クラスの問題を全員で共有し、自分たちの良い所を活かしながら、更に団結したL4にしていきたいです。

L4で3ヶ月過ごして

電気情報工学コース1年

福田 裕也
(名川中学校出身)

L4クラスは、入学当初からとてもフレンドリーで活気がありました。私自身、同じ中学校出身の友達もおらず大変不安がりましたが、すぐに友達ができ、安心してクラスに溶け込むことができました。しかし、最近では、その柔軟な適応力も「だらけ」となり、緊張感も弛んできようと思います。実は、私にもそのような面があります。今後は、この現状を改善し、クラスの雰囲気をもっとメリハリあるものになるよう、高専生としての自覚を持ち行動していく必要性を強く感じます。また、L4は成績が良い人が多いクラスです。しかし、私をはじめ成績が振るわない学生はもっと努力しなければなりません。そして、これまでの成績評価を真摯に受け止め、今後の到達度試験と一緒に挽回しましょう。やはり、何事もあきらめずコツコツ地道に進めることが大切です。L4の皆さん、一致団結して、この試練と一緒に乗り越えていきましょう！

1 学年主任から

克服だから八戸高専がいい

1 学年主任 蝦名 謙 一

4月1日(水)午前10時に入学式が厳かに挙行され、167名の新入生を迎えました。

保護者の方におかれましては、朝8:30の受付に始まり、コース長との懇談、そして入学式、関係主事の挨拶、学級担任との懇談、学生さんと教科書購入と午前中の行事に加え、午後から入寮手続き。節目であり喜びであり、大変疲れた一日であったかと思えます。学生さんは、その晩の学寮での新入生歓迎会、次の日は、8:30のSHRに始まり、始業式、対面式、HR、午後からはクラス写真撮影、入学者研修会として、教務・厚生補導・相談室全般についてのお話、図書館利用のガイダンスと、学生さんも大変疲れたことと思えます。担任も疲れましたが、新しいところで頑張る、頑張らせる保護者と学生さんの深い絆を感じまし

た。学寮の手続きを済ませ、寮務主事のお話も聞き、学生さんの笑顔を見て、「ホッ」としてお帰りになられた保護者の姿がとても印象に残りました。

5年間の高専時代には、いろいろなことがあるでしょう。克服しながら自分自身をよりよく磨き、就職した際には、立派な社会人で、全国のどこかで活躍してほしいものと願っております。

今年度より4学期制導入となり、春・夏・冬学期と集中して勉強するスタイル、秋学期には発表会のある自主探求学習と称して「学びとり教育」を目指した探究活動をこなして行かなければなりません。只今、テーマを募っているところであります。

八戸高専に来てよかったと思えるように！

専攻科新入生紹介

6年目の高専生活

機械システムデザインコース1年
荒木 亮太
(八戸市立北稜中学校出身)

本科を終えて早3ヶ月となり、よく考えると小学校の在学期間である6年に並ぼうとしています。本科から専攻科に進学し、さらに4学期制が始まったようですが、現時点では本科での生活とあまり変化は感じていません。変わったとすれば、部活が無くなったことと自分たちの教室が無くなったことです。その生活にも慣れてきましたが、4階の授業教室までの階段が鬼門です。運動不足という現実と直面し、頭を抱える毎日です。冗談はさておき、自称少数精鋭となったクラスで高めあいながら毎日楽しく過ごしています。今年のAM1からフランス留学者が出なかったことは残念ですが、趣味と勉強、研究のどれも欠かすことの無いように後悔しない2年間にしたいと思います。

専攻科の生活の中で

電気情報システム工学コース1年
古川 詩帆
(階上町立階上中学校出身)

専攻科に入学して、早くも3ヶ月が経ちました。本科の4学期制導入の影響で前期中に前倒し授業はないものの、週3回の実験やレポート、課題などで忙しい毎日を送っています。課題のほかにやらなければならないことはどんどん増えていくので、早めの対応が求められます。本科生の時は締め切り近くまで何もしなかったことが多かったのですが、今では余裕を持った早めの行動をしています。

専攻科生となった今、一番大事だと感じていることは、時間の使い方です。やることを明確化し、どのくらいの時間で何ができるのかを考えることで、時間はとても有効に使えるのだと最近になって気づきました。これを活かして、学校生活と自分のやりたいことをうまく両立していこうと思います。

専攻科で挑戦したいこと

マテリアル・バイオ工学コース1年
高谷 夏実
(八戸市立下長中学校出身)

専攻科に入学してからもう3か月が経ちました。勉強や研究、課外活動など、やることがたくさんあり、充実した生活を送っています。4月末にアジア各国の学生が参加するリーダーシップ育成プログラム「クールジャパンセミナー」があり、実行委員として参加しました。企画・実行は難しく、大変でしたが、日本人とは異なる価値観を持った人たちと話し合い、行動を共にすることができ、とても刺激的で良い経験になりました。8月にマレーシアで開催されるISTS 2015で、クールジャパンセミナーで仲良くなった人たちと再会するのがとても楽しみです。国際交流以外にも、国内インターンシップや高専女子フォーラムなど、様々な課外活動があります。専攻科では、勉強や研究を疎かにしないように気を付けながら、このような活動に積極的に参加し、責任をもって取り組み、社会で活躍できる力をつけていきたいです。

専攻科に入学して

環境都市・建築デザインコース1年
日登 広大
(八戸市立北稜中学校出身)

専攻科に入学して、早くも2ヶ月が経ちました。本科での5年間もあつという間でしたが、専攻科での2年間もあつという間に終わってしまうと感じてきています。

話に聞いていたとおり、実験、研究、課題に追われる日々を送っています。夏には、企業や大学のインターンシップを控え、皆自分の進路に向けて着々と準備をしています。この夏で多くの経験をし、自分に何が足りないのか考え、残りの時間で、それを補う努力が必要になると思います。また、新たな出会いもあると思います。新たな出会いをチャンスだと思い、自分の進路に繋げていけたら良いと思います。

短い専攻科生活を無駄にせず、短所を長所にし、長所にはさらに磨きをかけ、自分に自信を持てるように頑張りたいと思います。

留学生・編入生紹介

編入学して
電気情報工学科4年

吉村 悠
(十和田工業高等学校出身)

高専に入学して、約3ヶ月になります。高専での毎日は高校に比べると、とても忙しく、この約3ヶ月あつという間に過ぎていきました。しかし、忙しい中にも充実した時間があり、有意義な学生生活を送っています。高専の授業は高校に比べるとレベルが高く、とても難しいですが、クラスメイトや先生に教わりながら、皆とおなじくらいのレベルにまでくることができました。試験も最初にしてはなかなか順位だったので、これからも勉強に力を入れていきたいです。そして自分の成績に満足することなく、高い目標を掲げ、精進していきたいです。あと、所属しているサッカー部にも、積極的に練習に参加し、チームで大会で大きな成績を残したいです。

クラスメイトとはもう打ち解け、毎日楽しい日々を過ごしています。最初は、不安しかなかったのですが、クラスメイトがいい人ばかりで、とても感謝しています。

これから試験やインターンシップなどがあります。試験では前回以上の成績を取ることを目標とし、インターンでは自分の将来につなげられるような経験をしていきたいです。八戸高専での時間を無駄にしないように生活していきたいです。

編入生としての抱負
建設環境工学科4年

坂 聖司
(八戸工業高等学校出身)

八戸工業高校から編入してきた坂聖司です。高校在学時の部活は、一年生の時がバスケットボール部で、二・三年生の時は生徒会に所属していました。バスケットボール部では、試合に出て活躍することはあまりできませんでした。一生懸命に練習に取り組むことができ、良い思い出です。私が二年生のとき八戸工業高校は創立七十周年で、それを記念して生徒会は、サークルKと商品を共同開発する機会がありました。そのことが自分のなかでは印象深いです。

また、測量士補や二級土木施工管理技士の資格取得を目指して勉強を頑張っていました。勉強したことを将来役立てることができれば嬉しいです。

編入して3か月程経ちましたが、まだまだわからないことばかりです。編入する前は少し不安がありました。周りに手を差し伸べてくれる優しい人たちがたくさんいて、とても助かっています。至らないこともあると思いますが、これから積極的に自己啓発に努め、成長できるように頑張りますので、よろしくお祈りします！

日本での留学生活について

機械工学科3年

ムハマド リディワン ビン ルスジャン
(マレーシア)

四月マレーシアから八戸高専に編入してから二ヶ月ぐらいが立ちました。外国人だから日本語が余り上手ではないので色々なことを心配しました。日本に行くことは始めてでした。だから文化と生活のやり方も慣れることが難しかった。しかし、先生や日本の友達と先輩のおかげで、今は高専の生活に大分慣れてきました。

勉強については確かに難しいですが、先生や友達に分からないところを聞いたら、いつも優しく答えを教えてくださいました。同じ国からの友達がいるのは、良かったです。一緒に勉強することができるし、料理も一緒にやるができるです。生活は寂しくないです。それは周りのみんな、特にチューターのお陰です。日本語があまりできないのに、気にせず話かけたり、一緒に遊んだりしてくれたから、感動です。

今の場合はもうばっかりですが、これからもっと上手になったときはこの気持ちを他人にあげたいと思っています。ですから、難しいことはあるのはあるですが、他人のためにも、自分のためにもこれからもっと頑張りたいです。

日本での留学生活について

機械工学科3年

アルハキム ビン マド ズルキプリ
(マレーシア)

高専に入学してから二ヶ月ぐらい経ちました。今は日本の生活はだんだん慣れてきました。最初は大変苦しかったですが、先輩と先生と友達のおかげで、生活は楽しくなりました。

最初の日本に苦しかったことは、習った日本語と毎日使う日本語が違うことです。それから、話すスピードも違います。だから、皆とのコミュニケーションと授業は大変でした。授業の内容も理解できなくてすごく厳しかった。

今は夏学期になりました。専門科目も多いので、勉強は前より頑張らなければなりません。だから、皆の力をこれからもお願いします。

日本での留学生活について

物質工学科3年

ピンナヅワ ナヴォダ タツサラニ
(スリランカ)

去年の4月日本に来て一年間日本語を勉強して、今年の4月から八戸高専に編入しました。八

戸に引っ越ししてからまだ2ヶ月くらいです。

高専で専門の勉強を始めて、勉強が難しいし、八戸も寒いから少し大変だと思っていました。授業でも分からないことがいっぱいありました。

今まで失敗したことがいっぱいありましたが、高専での勉強と日本の生活に対して頑張っていると思います。皆さん、宜しくお願いします。

高専での生活

物質工学科3年

ヌル インダー セティヨリニ プトリ
(インドネシア)

日本に来て1年間も経ちましたが、高専での生活は今年の4月から始まりました。高専に入る前、数学や化学を少し日本語で勉強しましたが、高専に入って勉強がさらに進んでいて、私にとってはとても大変です。勉強だけでなく、友達のことにも不安がありました。しかし、今はクラスメートと仲良くなって、皆に高専での勉強や生活を教えてもらっています。高専での勉強や生活は大変ですが楽しいこともあるので、頑張りたいです。

勇気と努力

建設環境工学科3年

エイシャトン (マレーシア)

私は日本に来てから2ヶ月がすぎました。日本語はまだまだ上手ではなく、先生や友達などとうまく話しが合うかちょっと心配です。

私にとって、勉強だけでなくコミュニケーションも大事です。マレーシアの頃と違って、友達を作るには勇気と努力が必要です。私は自分から友達に声をかけるようにすると、すぐに仲良くなりました。日本人は驚いたことに優しくて丁寧な人だと思います。私はみんなと仲良くなりたいのでもっともっと頑張ります。

チャンスとチャレンジ

建設環境工学科3年

ハキム (マレーシア)

私は日本に来る前に学校で食べ物、お祭り、生活のことなど先生から教えてもらいましたが、実際に日本に来て、人の多さや都会の大きさにとてもびっくりしました。日本の四季も初めてなので全て楽しみです。また、運輸もマレーシアにくらべ発展しています。

高専での生活は、クラスの仲間はみんな温かくとても親切です。これから、たくさんの方にチャレンジしたいし、チャンスがあれば色々な場所に行ってみようと思います。

授業参観日

授業参観日を終えて

教務主事補 村山和裕

5月23日(土)の授業参観につきましては、昨年度を15名上回る約190名の保護者の皆様にご参加をいただきました。ご多用中にもかかわらずご参加をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、

授業参観アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。普段の授業や教室の雰囲気を感じて頂けたと同時に、授業方法等に関する大変貴重なご意見やアドバイスをいただきました。ご指摘いただいた事項については、全教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立てていきたいと思っております。来年1月には、保護者の皆様もご参加いただけるオープン授業推進週間を設定しております。今回、参加できなかった皆様にも、是非ご参加いただき、ご子息の授業の様子や取り組み、高専ならではの実習授業もご覧いただければ幸いです。

新任教職員紹介 ▶▶▶

- ①氏名
- ②出身地
- ③所属・職名
- ④前職

- ① 佐藤 健
- ② 岩手県一関市
- ③ 総合科学教育科・准教授
- ④ ネットワンシステムズ(株)、東北学院大学

4月1日付けで総合科学教育科に着任いたしました。数学と情報系の講義を担当します。こちらに来るまではおもに東北地方の大学や高専など文教系の情報インフラの設計・構築を行う一方で、東北学院大学で情報系講義の非常勤講師を務めたり、工学総合研究所で環境電磁工学の研究を進めたりといった活動をしてきました。

高専での学習は高校とは異なり大学受験や進学だけが目標ではありません。数学は理工系分野においては様々な事象を理解するための共通言語ですので、問題を解くテクニックを身に付けるだけでなく、社会で実際にどのように利用されているのか、どういう分野で生きてくるのかなどをこれまでの経験を通して伝えられたらと思っています。楽しい学校生活を送れるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

- ① 福松 嵩博
- ② 兵庫県加古川市
- ③ マテリアル・バイオ工学コース 助教
- ④ 大阪大学大学院博士後期課程

今年度4月よりマテリアル・バイオ工学コースの助教として着任しました、福松嵩博と申します。

専門として、化学、特に物理化学、高分子化学分野の研究を行ってきました。八戸高専においても物理化学の担当となったため、これまで学んできた経験を活かし、学生の指導、研究を進めていきたいです。

また、前年まで学生であったため、今まで教育経験がありません。そのため、日々の授業、研究を行う中で教育の難しさを感じています。少しでも早く教育現場に慣れるため、学生とともに自分自身も成長していけるよう努力していきたいと考えています。

不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をかけることも多々あると思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

- ① 秋田 敏宏
- ② 岩手県九戸郡洋野町
- ③ 電気情報工学コース・准教授
- ④ 一関工業高等専門学校電気情報工学科・准教授

本年4月に高専間人事交流制度により一関高専から本校に配置換えとなった秋田敏宏と申します。八戸の地で生活するのは学生時代以来となります（本校E30卒です）。

本校学生時代には高電界工学、大学時代は無線・アンテナ工学、システム情報工学について研究してきており、様々な電気系分野を扱ってきました。現在は、画像処理・信号処理を含むハード・ソフト両面でのシステム構築を主として、組込みシステムに関する研究活動および産学官連携活動を行っております。また、小中学生を対象とした科学技術コミュニケーション活動や学生・社会人向けの組込み技術に関する人材育成を実施してきました。

学生の教育研究活動・課外活動における指導やサポートおよび地域貢献に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

- ① 金子 賢介
- ② 大分県
- ③ マテリアル・バイオ工学コース・助教
- ④ 北海道大学大学院統合環境部門学術研究員

本年4月1日にマテリアル・バイオ工学コースの助教に着任しました、金子賢介と申します。

専門は海洋天然物化学という分野です。海洋生物が産生する2次代謝産物の単離や活性評価をとおして、産業に有用な物質を探索することを主眼に置いています。また、2次代謝産物が生体内で産生されるしくみに着目した研究も行っています。

学生の皆さんには、研究活動を通して、あたらしいものを発見する楽しさを実感してもらえたらと思います。

教育経験はなく、本校ではじめて教員となりました。至らぬ点が多く、今後いろいろとご面倒をおかけすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

- ① 庭 瀬 一 仁
- ② 岩手県九戸郡洋野町
- ③ 環境都市・建築デザインコース・准教授
- ④ 日本原燃株式会社 開発設計部

環境都市・建築デザインコースに6月1日に着任しました。本校土木工学科を平成元年に卒業し、日本原燃株式会社に就職、以来26年間、放射性廃棄物を安全に埋設処分する仕事に携わってきました。担当業務の中で、とりわけコンクリート構造の長期耐久設計・評価に注力しまして、関連する成果を論文にまとめ、学位を取得しました。教職に就くことは、教育に携わったのが本校非常勤講師の2年数回の講義のみで経験不足に不安はありましたが、コンクリート工学の重要性や知識取得の方法を、ひいては科学技術者として生きていくことの楽しさを、多くの学生に伝えたいという思いで決意しました。研究については、これまでの業務経験を活かして、1,000年耐久コンクリートを目指した研究を進めたいと思っています。教育と研究をバランスよく遂行し、優秀な人材を輩出するとともに、研究成果を積み重ねていく所存です。よろしく願いいたします。

- ① 佐々木 絵里奈
- ② 岩手県盛岡市
- ③ 学生課学生係
- ④ 仙台高等専門学校 広瀬キャンパス 学務課学務係

4月1日付けで仙台高等専門学校広瀬キャンパスより本校学生課学生係に配置換となりました、佐々木絵里奈と申します。

仙台高専では教務系の業務を担当しておりましたが、現在は就職、課外活動、相談室関係等の業務を担当しております。学生の皆さんとは窓口でも毎日お会いしております。同じ高専と言っても異なる部分も多く、新鮮な日々を過ごしております。

以前、宮城県で行われた東北地区高等専門学校体育大会（第50回大会）で、受付や表彰の介添えとして八戸高専バスケットボール部員の皆さんと接している時には、数年後、こうしてお世話になるとは思いもしませんでした。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、学生の皆さんのお力になれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 笹 垣 義 美
- ② 北海道
- ③ 事務部長
- ④ 山梨大学総務部人事課長

平成27年4月1日付けで事務部長の役職を拝命し赴任いたしました笹垣義美と申します。

文部科学省の職務経験（初等中等教育、産業教育、文化行政）を経て、国立大学の総務系事務を担当してまいりました。青森県への赴任は初めてのことで、八戸市の歴史や風土を肌身に感じながら職務を全うして行こうと感慨新たにしております。

本校では、教職員が一丸となって教育研究等の改善・改革に前向きに取り組んでいます。岡田校長のリーダーシップのもと事務全般の的確な遂行を目指し、本校の発展に貢献できるよう微力を尽くしたいと思っております。よろしく願いいたします。



第52回東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

平成27年7月3日(金)～7月5日(日)

団体の部 (全成績)

	競 技 名	大会会場	男 子	女 子
一関大会	陸上競技	一関運動公園陸上競技場	第3位	第4位
	バスケットボール	東山総合体育館	準優勝	優勝
	卓球	奥州市総合体育館メインアリーナ	予選リーグ敗退	
	剣道	一関市総合体育館サブアリーナ	第7位	準優勝
	テニス	一関運動公園テニスコート	予選リーグ敗退	第3位
	ハンドボール	北上総合体育館	予選リーグ敗退	
	バドミントン	一関市総合体育館メインアリーナ	初戦敗退	
宮城大会	バレーボール	仙台市体育館	予選リーグ敗退	第3位
	ソフトテニス	シェルコムせんだい	予選リーグ敗退	
	柔道	宮城県武道館	第3位	
	硬式野球	名取市民球場	初戦敗退	
	サッカー	松島フットボールセンター	準優勝	
	水泳	スパッシュランドしろいし	第6位	第3位

※全国大会団体出場競技

競 技 名	全国大会会場	全国大会日程
男子バスケットボール	鹿児島アリーナ	8月14日(金)～16日(日)
女子バスケットボール	鹿児島アリーナ	8月14日(金)～16日(日)
剣道(女子団体)	合志市総合センター ヴィーブル体育館	8月22日(土)～23日(日)
サッカー	大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場他	8月26日(水)～30日(日)

個人の部

競 技 名	種目名	科年	氏名	成績	全国大会日程
陸上競技	※男子100m走	C4	工藤泰良	第2位	8月29日(土)～30日(日) 東平尾公園博多の森陸上競技場
		Z5	小向勇氣	第3位	
	※男子800m走	Z5	下山祐生	第1位	
		男子3000mSC	C2	小橋和樹	
	男子3000mSC	C2	小山浩亮	第2位	
	男子4×100mリレー		寅谷・工藤・川渡・小向	第3位	
	男子4×400mリレー		佐藤・田尻・寅谷・下山	第3位	
	※男子走高跳	Z2	赤坂健太	第2位	
	※女子800m	C3	前川由貴	第2位	
	女子100mH	C3	田中早紀	第3位	
女子走高跳	C2	津村舞奈	第1位		
※女子砲丸投	C2	横浜希	第3位		
剣道	※女子個人	C2	佐々木智帆	準優勝	8月22日(土)～23日(日) 合志市総合センターヴィーブル体育館
テニス	男子ダブルス	C4	工藤秀斗	第3位	
		C4	澤山竜也		
	女子ダブルス	Z4	松田真世	第3位	
バドミントン	女子ダブルス	M2	瀧野アリサ	第3位	
		C4	宇川千夏		
ソフトテニス	※男子ダブルス	C4	佐藤真帆	第3位	8月26日(水)～27日(木) 〈晴天時〉都城運動公園庭球場 〈雨天時〉綾てるはドーム
		E3	浪岡洋史		
	※女子ダブルス	C4	沢谷実里	第2位	
	※女子シングルス	Z3	粒来真優子	第1位	
	※女子シングルス	Z3	粒来真優子	第2位	
柔道	男子90kg超級	M5	●翔弥	第3位	8月22日(土)～23日(日) 宮崎県総合運動公園武道館 (KIRISHIMAツツブキ武道館)
	男子60kg級	E2	坂本修平	第3位	
	※女子52kg級	C4	浦田夢月	優勝	
水泳	※男子100m背泳	Z4	新毛友哉	第3位	8月30日(日) 鹿児島市鴨池公園水泳プール
	※男子200m背泳	Z4	新毛友哉	第3位	
	※男子200m個人メドレー	C4	小林潤哉	第2位	
	※男子400m自由形	C4	小林潤哉	第3位	
	※女子50mバタフライ	Z2	秋山悠希	優勝	

※印 全国大会出場者

第68回青森県高総体結果

【団体の部】

競技種目	会場	結果	備考
男子バスケットボール部	八戸工業高校、八戸市立東体育館	ベスト16 (4回戦敗退)	10/24, 25両日のウィンターカップ出場権獲得
女子バスケットボール部	千葉学園高等学校	初戦敗退	
バレーボール (男子)	マエダアリーナ	2回戦敗退 (ベスト16)	
バレーボール (女子)	青森中央高校	1回戦敗退	
ソフトテニス部	新青森県総合運動公園テニスコート	1回戦敗退	
卓球 (男子)	弘前市民体育館	ベスト8 (準々決勝敗退)	
柔道	スポカルイン黒石	予選リーグ敗退	
サッカー	五戸ひばり野サッカー場他	3回戦敗退 (ベスト16)	
バドミントン (男子)	青森県武道館	1回戦敗退	

【個人の部】

競技種目	会場	結果	備考
陸上競技	青森県総合運動公園陸上競技場	男子 3000mSC	決勝 10位
		男子 3000mSC	決勝 11位
ソフトテニス	新青森県総合運動公園テニスコート	浪岡洋史・菅原智哉	4回戦敗退
		他	1, 2回戦敗退
卓球	弘前市民体育館	(男子S) 山本 凌	2回戦敗退
		(男子S) 甲田智也	2回戦敗退
		(男子S) 安保勇紀	1回戦敗退
		(男子S) 坂本成海	1回戦敗退
		(女子S) 中山美優	1回戦敗退
		(男子W) 安保・福田	2回戦敗退
		(男子W) 甲田・安村	1回戦敗退
		(男子W) 山本・坂本	1回戦敗退
柔道	スポカルイン黒石	1, 2回戦敗退	
水泳	鯉ヶ沢町立スポーツセンター室内温水プール	女子 50m バタフライ	3位
		女子 100m バタフライ	8位
		女子 50m 背泳ぎ	1位
		女子 200m 背泳ぎ	7位
バドミントン	青森県武道館	(男子S) 赤坂綾斗	ベスト 32位

校内体育大会

機械工学科 5年

新山亮祐

(青森市立古川中学校出身)

今年の校内体育大会は、まだ梅雨の時期に入っていないこともあり、去年ほど雨の心配をすることなく無事に開催できました。

行事委員副委員長として、委員長の機械工学科5年久保田禎人君のサポートを行いました。運営をするうえでさまざまなミスがあり、体育大会に参加してくれた学生や行事委員に迷惑をかけてしまったので申し訳なく思っています。しかし行事委員を中心に協力してくれたおかげで、今年も大成功で終えることができ、感謝しています。

今年は機械工学科が建設環境工学科の総合優勝3連覇を阻止し、2年ぶりに総合優勝できて最高の気分です。応援合戦には教職員や保護者の方々も見に来てくださり、大いに盛り上がったので満足しています。しかし、運営の部分では、前日にリハーサルをする時間がなく、当日のぶっつけ本番であったこともあり、スケジュール通りに進行することができなかつたり、競技によってはトラブルが発生したりしてしまいました。来年の校内体育大会ではこのような失敗をせずに、スムーズに進行して、気持ちよく終えてもらいたいです。

11月にある校内球技大会の運営も行事委員会の主な仕事になっています。この行事からは私たち

5年生ではなく、4年生が中心となって行います。私と同じ副委員長である物質工学科4年小林潤哉君を中心として運営をします。私は、一人でも何ともしようとしてしまう癖があり、今年の体育大会ではとても忙しい思いをしました。小林君にはこのような忙しさを味わってほしくありません。そのため、周りの行事委員とたくさん相談し、協力してもらい、少しでも負担を軽くしてもらいたいです。そして球技大会、来年の体育大会を成功させてください。

最後に体育大会の運営では、馬淵先生や学生課の方々をはじめ、たくさんの教職員の方々に助けて頂きました。この場をお借りして、お礼申し上げます。「ありがとうございました！」



国際交流活動報告

国際交流委員長 阿部 恵

グローバル・コンピテンシーを伸ばす取り組み

本校は積極的に学生の海外派遣・受入などの国際交流活動を実施するとともに、高専機構などが主催する国際交流活動にも積極的に参加を促しています。高専時代に海外の同世代の若者と交流活動をする体験はグローバル・コンピテンシーを伸ばすことにつながります。

★★★ 新留学生の紹介 ★★★

平成27年度は6名の留学生（国費留学生2名とマレーシア政府派遣留学生4名）が本科3年に編入しました。機械工学科に2名でマレーシア人のアルハキム君とリディワンさん、物質工学科に2名で、スリランカ人のナヴォダさん、インドネシア人のプトリさん、建設環境工学科に2名でマレーシア人のエイシャトンさんとハキム君です。今年度は本科4年生と5年生の留学生合わせて11名となりました。3年生と4年生の留学生には日本人学生のチューターが各2名ついて学校生活や日本語などを支援します。日本人学生のみならずにも日常生活で留学生と交流を図り、様々な文化に興味関心をもつとともに、自国についての知識も深めてくれることを期待します。

★★★ Cool Japan Seminar 2015 ★★★

平成27年4月25日（土）から5月2日（土）まで、青森県立種差少年自然の家で「クールジャパンセミナー 2015 in 八戸」が“復興”をテーマに開催されました。本セミナーは、高専生を含む多国籍グループによるワークショップ型の活動体験を通じて、国際的な指導者の資質や能力向上を目的としています。学生参加者数は、インドネシア6名、シンガポール10名、タイ4名、マレーシア6名、日本22名（明石高専3名、茨城高専3名、八戸高専16名）の合計48名でした。本校の学生たちがセミナーの企画・運営を担当し、期間中はすべて英語で遂行し、リーダー力だけでなく、英語力も向上させました。

★★★ 海外派遣・受入報告 ★★★

(1)海外派遣プログラム「テマセク・ポリテクニクPBL（問題解決）研修」（シンガポール）

平成27年3月2週間のシンガポール研修に、35名の学生（うち富山高専5名）が参加して、シン

ガポールの工学を勉強している学生たちと問題解決

を導入した共同プロジェクトに取り組みました。研修中は多民族国家であるシンガポールで多彩な文化と民族の共生を感じ、異文化理解を向上させるとともに、日本文化や高専の紹介も行い、シンガポールの学生と友好を深めました。

(2)海外派遣プログラム「シンガポール・ポリテクニク語学研修プログラム」（シンガポール）（本科1年生対象）

本校が採択された高専改革推進経費プロジェクトの一環として、平成27年3月2週間の語学研修に、18名の学生（全富山高専生）が参加した。今年度の本研修は奨学金がないこともあり、残念ながら

本校からの参加希望者はいませんでした。参加した富山高専の学生が研修後に様々な活動に積極的に参加をしている旨、富山高専の教員から報告を受けています。

★平成27年度8月以降の海外派遣・受入予定★

(1)8月23日～8月31日 香港IVE專業教育学院(香港) から学生20名受入予定

(2)9月～11月 フランスのベツヌ技術短期大学、ランス技術短期大学、ヴァランシエヌ技術短期大学、カレー技術短期大学に学生8名、フィンランドのトゥルク応用科学大学に学生1名、タイのキングモンクット工科大学に学生3名を派遣予定です。

(3)9月22日～10月1日 テマセク・ポリテクニク（シンガポール）から学生20名受入

(4)10月1週間（日程調整中）マレーシアから学生10名受入

(5)「テマセク・ポリテクニク（シンガポール）との科学技術・異文化交流プログラム」

派遣期間：平成27年10月4日～18日

対象：本科1年生～3年生20名

*成績基準を満たした学生に青森県から10万円の補助金支給制度あり。

対象：本科3年生～5年生20名

*家計基準と成績基準を満たした学生にJASSOから10万円の補助金支給制度あり。

北辰寮から

寮生会総代から

建設環境工学科5年 小野寺 仁 志
(鶴田町立鶴田中学校出身)

入寮式から早くも2か月が過ぎました。1年生も新しい仲間たちと楽しく生活し、有意義な時間を過ごしていることと思います。

4月半ばに行われた田面木町内会のごみゼロ運動では、朝早くにも関わらず多くの寮生が参加し、例年に比べ活発なものとなりました。また町内の方々との交流も図ることができよいものとなりました。

先日行われた寮祭では、4学期制により日程が例年と変わり成功できるか不安でしたが、たくさんの方の協力により日中の企画も夜のラジオも盛り上がり、また天候にも恵まれ素晴らしいものになったと思います。5月下旬から始まったテスト週間ではたくさんの寮生が夜遅くまで勉強し、1年生は初めてのテストということもあり熱心に勉強している姿が見受けられました。夏学期もより一層勉強に励んでもらいたいです。

最後に、この時期から湿気と暑さが増してきますので、体調管理気には十分気をつけ、寮内も清潔さを保ち生活していきましょう。

ゴミゼロ運動参加報告

寮務主事補 丹 羽 隆 裕

4月19日、田面木地区の今年度最初のゴミゼロ運動に参加しました。

当日の朝は、有志による80名の寮生が参加しました。グラウンドからウルスラ学院にかけての高専南側の道路、高専正面玄関付近で、歩道や路肩のゴミ清掃、側溝の清掃を行いました。1年生も数多くいましたが、初参加にも関わらず積極的に清掃に取り組む姿が非常に印象的でした。

寮が学校の中にあるとはいえ、寮生も立派な田

面木地区の住人です。清掃活動を通して、自分たちが地域住民の一員であること、地域はみんなの手で維持し、守る必要があることを、改めて認識して欲しいと思っています。また、地域住民の皆様と交流した経験を学生生活にも活かし、メールやSNSだけでなく、ぜひ生身の人間同士の交流を楽しんでください。顔を合わせて語り合うことでしか生まれない、人と人の心が通いあうコミュニケーションは、いつの時代にも、どんな場所でも大切です。

参加した寮生の皆さん、お疲れさまでした。これからも自分が住む地域を大切にしましょう。

第51回北辰寮祭

寮祭実行委員長

機械工学科4年 工 藤 雄 太

今年の寮祭は当初、雨の予報でしたが当日は天気に恵まれ、様々な人の協力のもと無事寮祭を終えることができました。

寮祭は金曜日の夜に行われる「北辰ラジオ」から始まり、土曜日は赤レンガ広場で各クラスの露店、音楽部のライブや様々な企画がありました。また露店、企画を通じて先輩後輩とのつながりが増えたという声もたくさん聞きました。更に留学生との交流も見られ、異文化とも触れ合える良い機会になったと思います。日中の企画が終わった後は寮祭の目玉の夜祭です。1年生から5年生まで漫才やダンスなどをやっていただきとても楽しませてもらいました。私は二日連続の徹夜でしたが頑張りました。

今回、実行委員長をやり実感したことは、様々な人が協力し寮祭が成り立っているということです。今回寮祭に来てくださった皆様、携わってくれた先生方や学生の皆様、本当にありがとうございました。来年も素晴らしい寮祭にしていきたいのでご協力よろしくお願ひします。



ゴミゼロ



ゴミゼロ



寮祭

就職・進学状況について

就職担当幹事

産業システム工学科長

南 将 人

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月19日現在の進路状況を表1および2に示します。本科の求人社数は昨年より平均40社程増加しています。本科の就職希望者と進学希望者の割合は、4科併せて就職53%、進学47%（昨年46%）と一昨年から進学希望者が徐々に多くなっています。専攻科から大学院への進学を希望する学生は全専攻科を併せて52%（17名）であり、これは昨年の50%より若干増加しています。この要因として、有名国立大学院への推薦制度が充実、キャリア教育などをきっかけとして、研究職を真剣に志望する学生が増えた事が挙げられます。

就職希望者に対する求人倍率は本科平均25.4倍で昨年6月末の20.4倍を上回っております。この理由の一つには、今まで高専卒採用の実績がなかった企業が新規に採用活動を開始したことなど、学科を問わない、高専卒を優先的に採用しようとする企業が目立って多くなってきている事です。この方針の理由としては、高専卒の実務能力の高さへの大きな期待があるようです。

今年から就職活動に関して大きな変更があります。政府から2016卒からの採用時期は「広報活動開始」は3月1日以降、「選考活動開始」は8月1日以降とするよう要請が有り、これに対して日本経済団体連合会がこれまで実施していた「採用選考に関する企業の倫理憲章」を改め、「採用選考に関する指針」を発表しました。これに伴い、多くの企業が昨年度までは4月1日以降に実施していた選考試験を、8月1日以降と4カ月後ろに移動となりました。また、八戸市職員採用試験が、昨年まで9月に実施していましたが、本年度から6月実施となりました。現在、就職活動は、企業説明会やOB訪問会等、8月1日以降の選考試験を念頭に様々な活動を行っている最中です。

就職を希望する場合、インターンシップや求人票などを手掛かりとして企業研究に基づき、目指す企業を絞り込んでいきます。まず活動開始は4年生の冬学期到達度試験直後に開催される会社説明会です。また、これとは別に本校のWebデータベースで調べる事ができます。データベースは年明け頃から求人情報が更新され続けます。できるだけ早く優秀な学生を確保しようという意図から

早々に会社説明会やOB訪問等が有り、選考試験受験前に十分な調査かつ慎重な判断を行う必要があります。

就職試験には推薦応募と一般応募が有り、本科は概ね推薦を利用し、専攻科は併用の様です。推薦の場合、合格率も比較的高く、受験に必要な旅費などの経費も会社が負担してくれますが、併願はできません。合格した場合には辞退できません。

一般応募の場合は、経費は自己負担になることが多いですが、併願・辞退もできます。合格率は、推薦に比較すると低くなりがちです。

一方、進学希望者は複数の大学・大学院を受験することが出来ますし、本校の専攻科も併願できますので、受験する本科生が増えています。国公立大学への編入学、大学院への進学を目指す学生は、昼夜土日を問わず勉強しているようです。

進路については早くから対策を行うべきです。インターンシップやオープンキャンパス、見学会等の参加はもちろん、課外活動や学生会等、諸活動への積極的・継続的に参加して自分を磨き、その経験を面接等で堂々と語れるような学生生活を送ってほしいと思っています。

表1 本科進路状況（6月19日現在）

学 科	M	E	C	Z	
卒業予定者数	38(1)	41(7)	39(17)	37(14)	
就 職	希望者数	23(1)	24(6)	15(8)	20(10)
	求人社数 (昨年同時期)	620 (577)	636 (592)	390 (323)	440 (384)
	求人倍率	27.0	26.5	26.0	22.0
進学希望者数	15	17(1)	24(9)	17	

表2 専攻科進路状況（6月19日現在）

学 科	ASM	ASE	AC	AZ	
卒業予定者数	13	5	7(1)	8(2)	
就 職	希望者数	6	2	2	6(1)
	求人社数 (昨年同時期)	469 (425)	474 (436)	306 (248)	361 (313)
	求人倍率	78	237	153	60
進学希望者数	7	3	5(1)	2	

(内)：女子内数

相談室から

相談室長 平川 武彦

4月から相談室長になりました平川です。5年ぶりの室長です。よろしくお願ひします。

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラーによる支援を行って来ています。精神科医も下記のように定期的に来校していますので、保護者の皆様もお気軽に相談ください。

青年期に発症する精神疾患が疑われる場合やうつ状況など、何かしらの異変を感じたり、異変に関する情報を得たら、担任や相談室関係者等に連絡・相談ください。早期の対応が大切です。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や発達障害等が疑われる場合も、お知らせください。保護者と相談・連携の上、支援チームを組むなどの適切な対応をとってまいります。

いずれの場合も秘密は守られます。

相談室では、学生達が積極的な人間関係づくりができるように努めてまいります。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラーとカウンセリング担当曜日と開始時間

笹 博 (医師・ささクリニック院長)

第2・4水曜日 (16:00～)

中西 智子 (臨床心理士)

第3・5水曜日 (14:00～)

坂本 玲子 (産業カウンセラー)

第1木曜 (14:00～)

石川 善子 (臨床心理士)

第2・4木曜日 (15:00～)

土屋 文彦 (臨床心理士)

第1金曜日 (13:30～)

◎インターカー (窓口)

榎本 恭子 (看護師、保健室)

電話 0178-27-7236

◎相談員

各学科の教員を配置し、懇話室に日替わりで詰めています。夏学期の懇話室担当日は次の通りです (授業日の16:00～17:00)

月曜日: 沢村 利洋 (副室長・機械工学科)

電話 0178-27-7262

火曜日: 佐々木修平 (電気情報工学科)

電話 0178-27-7259

水曜日: 平川 武彦 (室長・総合科学教育科)

電話 0178-27-7252

木曜日: 金子伸一郎 (建設環境工学科)

電話 0178-27-7312

金曜日: 斎藤 貴之 (物質工学科)

電話 0178-27-7292

◎教職員向け相談員

福利厚生会館2階の相談室に詰めています。主に教職員のためですが、学生でも相談できます。今年度から3月に建設環境工学科を定年された菅原 隆先生が加わりました。(電話 内線8404)。

菅原 隆 (名誉教授・嘱託教授)

毎週月曜日と第3木曜日15:00～17:00

(授業のある月曜日は16:00～)

坂本 玲子 (産業カウンセラー)

第1・3火曜日15:00～17:00

土岐 泰教 (名誉教授)

第2・4金曜日15:00～19:00

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0120-50・24・12もあります。(受付時間: 24時間365日、メンタルヘルス相談は9:00～22:00)

□これまでの取り組みとこれからの予定

1. 構成的グループエンカウンターの実施 (1年生) <4月下旬>
人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される取り組み
 2. 第1回「こころと体の健康調査」の実施 (全学生) <5月中・下旬>
学生のメンタルの不調をいち早く把握し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談を実施するなど、学生の自殺を未然に防ぐ取り組み
 3. 第1回Q-U (Questionnaire-Utilities) 検査の実施 (1、2、3年生) <6月中旬>
学級運営や学生個人の支援に生かす取り組み
- ※1年生対象の「話してみよう! 1分間」は7月に実施の予定。学生が相談しやすくなり、しかも相談できる相手の選択肢を広げる取り組み

図書館の今年度の予定

図書館長：今野 恵喜

今年度の図書館の活動については、次のことを計画しています。

<交流室の積極的利用の促進>

- ・授業、公開講座、メンター制度、学生の自由な学習エリア等、多用途に使用していただけるアクティブラーニングエリア

<読書習慣を身につけるための各種行事の充実>

- ・読書マラソン（5月から1月の実施）
- ・ブックハンティング、ビブリオバトル、ニュースレターなど、学生会図書委員会の活動の支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会への参加

<図書館ホームページの管理・更新>

- ・平成26年度までの図書館統計の公表など

<その他>

- ・資格試験コーナーの充実
- ・自主探究学習の支援
- ・蔵書点検の実施（9月上旬）

☆ビブリオバトル（Bibliobattle）

輪読会・読書会、または勉強会の形式で「知的書評合戦」とも呼ばれているもので、

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. すべての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったか？を基準とした投票を参加者の全員が一票投票し、最多票を集めたものを『チャンプ本』とするものです。

男女共同参画委員会から

18歳の一票を

男女共同参画委員長

戸田山 みどり

今年度の八戸は統一地方選挙であけました。4月に2回の地方議会選挙、6月は市長選挙でした。

実は、最初の地方選のあと、専攻科の授業で何の気無しに、「選挙、行きましたよね」と言ったところ、1人の学生が「何ですか、それ？」と答えたのです。専攻科生ですから全員最低でも20歳です。さすがに、何があったのか知らなかったのは一人だけのようにでしたが。

20代の投票率が低いのは全国的な傾向です。しかし、それだけではありません。

青森県は国政選挙の「投票率ワースト1位」という自慢できないタイトルを保持しています。

さらに、今回の統一地方選挙前のデータでは、青森県の場合、首長と議員に占める女性の割合は全国最低の5.80%。投票率を見ても、「ワースト」を記録した2014年の参議院選挙でも、今回の統一地方選でも、女性は男性を下回っています。

朗報もあります。統一地方選の前、青森県は女性議員がゼロの地方議会が21もありました。これも全国ワースト1でした。しかし、今回の選挙でそのうちの4議会に女性議員が誕生しました。

青森県は女性の就労率は全国よりも高い傾向があります。有名なM字カーブ（20代後半から40代後半まで就労者比率が下がる傾向）は、緩いのです。自前の収入があり、一人前に税金を払っている女性達が、なぜ投票という権利となると使おうとしないのでしょうか。もったいないですよ。

6月17日に公職選挙法が改正になりました。来年には18歳で選挙権が得られます。本校の学生の実に半分くらいが有権者となるのです。学生のみなさんには、ぜひ、自分たちの未来に一票を投じてもらいたいと思います。そして、女子学生のみなさんには、なおさら、自分たちが働きやすく生活しやすい社会となるよう、一票を使ってほしいと思います。投票する権利は、長い長い闘いを通して勝ち取られたものですが、とりわけ、女性にとっては（とくに青森県の女性にとっては？）、まだ闘いは終わっていないからです。



学生表彰



○学習到達度試験優秀賞

学 科	氏 名	出身中学校
【数学】		
機械工学科	小田島 達 哉	八戸市立江陽中学校
機械工学科	陣 場 優 貴	二戸市立金田一中学校
物質工学科	平 井 東	八戸市立東中学校

学 科	氏 名	出身中学校
【物理】		
機械工学科	陣 場 優 貴	二戸市立金田一中学校
電気情報工学科	工 藤 健 斗	七戸町立七戸中学校
電気情報工学科	今 野 弘 樹	八戸市立下長中学校

○学業成績優秀賞 各クラス1位

学 科	氏 名	出身中学校	学 科	氏 名	出身中学校
【1年次成績部門】			【3年次成績部門】		
機 械 工 学 科 2年	黒 澤 俊 祐	階上町立階上中学校	機 械 工 学 科 4年	陣 場 優 貴	二戸市立金田一中学校
電 気 情 報 工 学 科 2年	東 山 聖 生	五戸町立倉石中学校	電 気 情 報 工 学 科 4年	道 上 和 馬	野田村立野田中学校
物 質 工 学 科 2年	日下部 由 伊	八戸市立根城中学校	物 質 工 学 科 4年	平 井 東	八戸市立東中学校
建 設 環 境 工 学 科 2年	橋 本 龍	八戸市立根城中学校	建 設 環 境 工 学 科 4年	高 坂 晴 伎	三沢市立堀口中学校
【2年次成績部門】			【4年次成績部門】		
機 械 工 学 科 3年	安 村 祐 哉	野辺地町立野辺地中学校	機 械 工 学 科 5年	目 黒 広 夢	八戸市立第一中学校
電 気 情 報 工 学 科 3年	武 田 一 希	むつ市立大平中学校	電 気 情 報 工 学 科 5年	榊 歩 夢	三沢市立第一中学校
物 質 工 学 科 3年	田 中 早 紀	八戸市立第一中学校	物 質 工 学 科 5年	寺 下 美 穂	八戸市立長者中学校
建 設 環 境 工 学 科 3年	今 泉 尚 也	十和田市立四和中学校	建 設 環 境 工 学 科 5年	下 山 祐 生	今別町立今別中学校
			【専攻科成績部門】		
			機 械・電 気 情 報 工 学 専 攻 (機 械 系) 2年	小 林 恵 太	
			物 質 工 学 専 攻 2年	小 笠 原 大 介	

○三ヶ年皆勤賞

機械工学科

氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校
角 濱 遼多朗	五戸町立五戸中学校	田 中 章 太	青森市立古川中学校	原 佳 希	田子町立田子中学校
坂 本 聖 龍	八戸市立根城中学校	沼 辺 尚 己	三沢市立第五中学校	向 山 溪 太	八戸市立第一中学校
杉 澤 勇 紀	十和田市立三本木中学校	林 克 也	三沢市立第二中学校		

電気情報工学科

氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校
石 田 竜 太	八戸市立市川中学校	今 野 弘 樹	八戸市立下長中学校	野 牛 春 那	八戸市立下長中学校
大 嶋 一 輝	八戸市立三条中学校	坂 本 海 斗	東北町立上北中学校	保 坂 光 希	青森市立浦町中学校
小 野 雄 大	二戸市立福岡中学校	菅 野 隆 文	八戸市立是川中学校	山 崎 涼 太	八戸市立北稜中学校
木 立 貴 大	黒石市立黒石中学校	豊 川 綾 香	八戸市立湊中学校		
工 藤 健 斗	七戸町立七戸中学校	中 村 誠	三戸町立三戸中学校		

物質工学科

氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校
上 野 七 海	六ヶ所村立泊中学校	佐々木 智 哉	南部町立杉沢中学校	竹 原 万 莉 那	八戸市立東中学校
小 川 洸	外ヶ浜町立蟹田中学校	沢 谷 実 里	八戸市立第二中学校	橘 佳 穂	葛巻町立江刈中学校
小 泉 友貴紀	五戸町立五戸中学校	高 橋 卓 也	八戸市立明治中学校		

建設環境工学科

氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校	氏 名	出身中学校
大久保 湧 生	八戸市立根城中学校	夏 堀 隼 也	南部町立福地中学校	輪 達 大 亮	軽米町立軽米中学校
高 橋 智 樹	八戸市立白山台中学校	日 脇 陸 生	野田村立野田中学校		
鳥谷部 竜 佑	八戸市立根城中学校	松 田 真 世	八戸市立白銀南中学校		
豊 川 翔一朗	十和田市立十和田中学校	森 晃 貴	軽米町立軽米中学校		

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail:somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

就学支援金額未決定者及び授業料免除申請者を除き後期分授業料の口座振替は、10月26日(月)に行います。

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学 寮 運営費	振 替 手数料
1～3年	4年～	複数室	個室		
117,300 ※57,900	117,300	4,200	4,800	42,830	66

※就学支援金受給対象者（加算支給なし）の場合

なお、前期分授業料を9月までに、後期分を3月までに納付しない者（就学支援金及び加算受給申請中の者を除く）は、授業料未納により除籍等の処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

後期授業料免除のお知らせ

平成27年度後期授業料免除（4年生以上）の申請受付期間は以下のとおりです。

・申請受付期間 9月1日(火)～9月30日(水)
(土・日・祝日および学校閉鎖期間を除く9:00～17:00まで)

申請期間以降の受付はできません。必ず期間内に申請してください。また、申請書類に不備がないよう提出前に確認してください。

なお、前期申請時に後期分も申請した学生は提出不要です。

3年生以下については、高等学校等就学支援金制度があるため、次の場合に限り申請を受け付けます。

- ・納期前6月以内に、主たる学資負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合
- ・納期前6月以内に、主たる学資負担者が失職しその後再就職していない場合

【授業料免除等に関する問い合わせ先】

学生課学生係 TEL：0178-27-7235

平成27年度公開講座

- (1) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズーまちづくり講演ー
日時：6月13日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (2) メカ no ワールド体験塾 Aコース
日時：7月11日(土)・12日(日)
対象：中学生、中学校教員
- (3) 第二種電気工事士技能試験事前講習会
日時：7月18日(土)・19日(日)・20日(月・祝)
対象：平成27年度第二種電気工事士技能試験受験者
- (4) ジュニア柔道 クリニック イン 高専
日時：7月27日(月)・28日(火)・29日(水)
対象：小、中学生
- (5) ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日時：8月22日(土)
対象：小学生
- (6) メカ no ワールド体験塾 Bコース
日時：9月5日(土)
対象：中学生、中学校教員
- (7) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズーブリッジコンテストー
日時：9月5日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (8) Trip to the Galaxy:Adventure in English
日時：9月19日(土)・10月3日(土)・10月24日(土)
対象：小学生、保護者
- (9) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズー建築模型ー
日時：9月26日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (10) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズー防災ー
日時：10月3日(土)
対象：中学生、保護者、中学校教員
- (11) ジュニアロボット教室
日時：10月3日(土)
対象：小学校5年生以上と中学生（小学生は保護者同伴のこと）
- (12) 無線LANって？
(自宅の無線LANにまつわる「あんなこと、こんなこと」って?)
日時：10月17日(土)
対象：中学生、中学校教員
- (13) READ to ACT!!
日時：11月7日(土)、11月21日(土)・12月12日(土)
対象：小学校、保護者